

〔古今和歌六帖鳥〕玄ぎ

曉に羽かく玄ぎの打玄きりいくよか君に戀わたるらん

〔新古今和歌集秋〕題しらず

西行法師

心なき身にもあはれは玄られけり鳴たつ澤の秋の夕ぐれ

〔武江產物志〕水鳥類 鶴不忍の池

〔風俗文選〕百鳥譜

支考

鳴はましてたつ時のあはれなるに馬糞マグツといふ鷹の風にひるがへりたるなまうかひにていとにくし彼澤の夕暮は江山の風情をそなへたればもろこしの雲夢ときこえし澤はいかなる澤にかあらむ、

〔本草和名十五〕鼈鳥クヘナ音戸媧反能食鼈故一名痘鳥クヘナ苦瘡人以血渥面即以名之出崔禹和名久比奈貌似水雞能食鼈故以名之。

〔倭名類聚抄十八〕鼈鳥クヘナ羽族名

〔箋注倭名類聚抄十七〕鼈鳥クヘナ崔禹錫食經云鼈鳥クヘナ和名久比奈漢語抄云水雞クヘナ貌似水雞能食鼈故以名之。

本紀漢語抄以水鷄爲久比奈其說不同食經鼈鳥非卽日本紀漢語抄水鷄也按河間府志姑丁狀如鷄又名水鷄漢語抄所云水鷄或是又卓氏藻林庸渠鳥名似鳬卽今水鷄也與此又不同○中按李時珍曰秧鷄大如小鷄白頰長嘴短尾背有白斑多居田澤畔夏至後夜鳴達旦秋後卽止是可以充久比奈也、

〔類聚名義抄九〕鼈鳥クヘナ鶴鷄クヘナ音羊鵠鷄鳥クヘナ、水鷄クヘナ

〔同〕鼈鳥クヘナ

〔下學集上氣形〕水鷄クヘナ其聲如

〔物類稱呼二〕秧鷄クヘナ。

仙臺にてなまず鳥と呼、

〔八雲御抄三下〕水鷄クヘナ

たゞくはこの似なり又誠にもたゞくと云源氏にくゐなのうちなきた